

## 安全データシート

## 10-ウンデセナール

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名 : 10-ウンデセナール  
CB番号 : CB9190322  
CAS : 112-45-8  
EINECS番号 : 203-973-1

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : シトラス系香料として多くの化粧品香料,食品香料に用いられる。  
推奨されない用途 : なし

## 会社ID

会社名 : Chemicalbook  
住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟  
電話 : 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

環境に対する有害性はGHS改訂4版を使用  
H24.1.31、政府向けGHS分類ガイダンス(H22.7月版)を使用

## 物理化学的危険性

引火性液体 区分4

## 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

## 絵表示

GHS07

## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

H315 皮膚刺激。

H227 可燃性液体。

#### 注意書き

#### 安全対策

P280 保護手袋 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P273 環境への放出を避けること。

P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P261 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

#### 応急措置

P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤 (ドライケミカル) 又は耐アルコール性フォームを使用すること。

P333 + P313 皮膚刺激又は発しん (疹) が生じた場合：医師の診断 / 手当てを受けること。

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

#### 保管

P403 換気の良い場所で保管すること。

#### 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

### 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
別名	: 10-Undecenal
化学特性(示性式、構造式 等)	: C11H20O
分子量	: 168.28 g/mol
CAS番号	: 112-45-8
EC番号	: 203-973-1
化審法官報公示番号	: 2-2464
安衛法官報公示番号	: -

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

#### 一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

#### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。医師に相談する。

#### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。コンタクトレンズをはずす。

#### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

### 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

### 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

## 5. 火災時の措置

### 5.1 消火剤

使ってはならない消火剤

本物質/混合物に対する消火剤の制限なし

適切な消火剤

泡 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 粉末

### 5.2 特有の危険有害性

火災時に有害な燃焼ガスや蒸気を生じるおそれあり。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

蒸気は空気より重く、床に沿って広がることもある。

可燃性。

炭素酸化物

### 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

### 5.4 詳細情報

容器を危険ゾーンから移動させて水で冷やすこと。消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

## 6. 漏出時の措置

### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: 蒸気、エアゾールを吸入してはならない。触れないようにすること。十分な換気を確認する。熱や発火源から遠ざける。危険なエリアから避難し、緊急時手順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

### 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 液体吸収

剤(例. Chemizorb®)で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。

## 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

# 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

### 火災及び爆発の予防

炎、熱および発火源から遠ざける。静電気放電に対する予防措置を講ずること。

### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目2.2を参照。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

### 保管クラス

保管クラス(ドイツ)(TRGS 510): 10: 可燃性液体

### 保管条件

密閉のこと。保管安定性推奨された保管温度2 - 8 °C

## 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。保護眼鏡

#### 皮膚及び身体の保護具

#### 要

#### 身体の保護

#### 保護衣

#### 呼吸用保護具

気化ガス/エアロゾル発生時に必要

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387お

よび使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

形状 液体(Sax (11th, 2004))

色 無色から淡黄色(Sax (11th, 2004))

臭い バラ臭(Sax (11th, 2004))

臭いのしきい(閾)値 データなし。

pH データなし。

データなし。

235°C(有機化合物辞典 (1985))

93°C(CC)( MSDS (Sigma-Aldrich) (2011) )

データなし。

データなし。

データなし。

データなし。

4.12(SRC Phys Prop (Access on May. 2011))

.エタノール,有機溶媒 に易溶(有機化合物辞典 (1985))

水:19.1 mg/L(SRC Phys Prop (Access on May. 2011))

0.810g/cm<sup>3</sup> (Lange (16th, 2005))

データなし。

0.0653 mmHg(25°C)(SRC Phys Prop (Access on May. 2011))

データなし。

データなし。

### 融点・凝固点

データなし。

### 沸点、初留点及び沸騰範囲

235°C(有機化合物辞典 (1985))

### 引火点

93°C(CC)( MSDS (Sigma-Aldrich) (2011) )

### 蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし。

### 燃焼性(固体、気体)

データなし。

## 燃焼又は爆発範囲

データなし。

## 蒸気圧

0.0653 mmHg(25°C)(SRC Phys Prop (Access on May. 2011))

## 蒸気密度

データなし。

## 密度

0.810g/cm<sup>3</sup> (Lange (16th, 2005))

## 溶解度

.エタノール,有機溶媒に易溶(有機化合物辞典(1985))

水:19.1 mg/L(SRC Phys Prop (Access on May. 2011))

## n-オクタノール/水分配係数

4.12(SRC Phys Prop (Access on May. 2011))

## 自然発火温度

データなし。

## 分解温度

データなし。

## 粘度(粘性率)

データなし。

---

## 10. 安定性及び反応性

### 10.1 反応性

引火点より下のおよそ15ケルビンからの範囲は危険とみなされている。

高熱で空気と反応して爆発性混合物を生じる

### 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

### 10.3 危険有害反応可能性

データなし

### 10.4 避けるべき条件

強力な熱

### 10.5 混触危険物質

## 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 経口

データ不足。なお、ラットのLD50値は >5000mg/kg (RTECS (1997))と報告されている。GHS分類:分類できない 急性毒性(経口) 分類できない

#### 経皮

データ不足。なお、ウサギのLD50値は >5000mg/kg (RTECS (1997))と報告されている。GHS分類:分類できない 急性毒性(経皮) 分類できない

#### 吸入:ガス

常温で液体である (liquid; Sax (11th, 2004))。GHS分類:分類対象外 急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外

#### 吸入:蒸気

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

#### 吸入:粉じん及びミスト

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

### 皮膚腐食性及び刺激性

データ不足。なお、ウサギの皮膚に500 mgを24時間適用した標準ドレイズ試験で刺激性は軽度(mild)(RTECS (1997))と報告されている。GHS分類:分類できない 皮膚腐食性/刺激性 分類できない

### 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

### 呼吸器感作性

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

### 皮膚感作性

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

### 生殖細胞変異原性

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

### 発がん性

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

### 生殖毒性

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

## 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

## 吸引性呼吸器有害性

データなし。GHS分類:分類できない 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

止水式試験 LC50 - Danio rerio (ゼブラフィッシュ) -> 18.72 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 203)

#### 藻類に対する毒性

EC10 - Chlorella vulgaris (淡水藻) - 2.23 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

### 12.2 残留性・分解性

#### 生分解性

好気性 - 曝露時間 14 d

結果: 100 % - 易分解性。

(OECD テスト ガイドライン 301C)

備考: データなし

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壌中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

#### 製品

内容及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号



ADR/RID (陸上規制):- IMDG (海上規制):- IATA-DGR (航空規制):-

## 14.2 国連輸送名

ADR/RID (陸上規制): 非危険物

IMDG (海上規制): Not dangerous goods

IATA-DGR (航空規制): Not dangerous goods

## 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制):- IMDG (海上規制):- IATA-DGR (航空規制):-

## 14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制):- IMDG (海上規制):- IATA-DGR (航空規制):-

## 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制): 非該当  
非該当

## 14.6 特別の安全対策

なし

## 14.7 混触危険物質

強酸化剤, 強還元剤, 強塩基類

---

# 15. 適用法令

## 消防法

第4類引火性液体、第三石油類非水溶性液体

---

# 16. その他の情報

## 略語と頭字語

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA: 国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

## 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
<http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。